

令和7年3月19日

保護者の皆様

新潟市立小針中学校
校長 軽部 直幸

令和6年度 学校評価アンケート等について報告

教育目標達成のため、目指す学校像を「喜びがつながる学校」、取組のキーワードを「自治力と自己決定力を高める」として教育活動を行ってきました。今年度は2回、保護者の方々からもの学校評価に関するアンケートに回答していただき、感謝申し上げます。一年を総括した取組を振り返り、アンケートの回答結果を参考にしながら次年度の教育活動に生かしていきたいと思えます。各種学校評価の結果や割合は、小針中学校ホームページをご覧ください。

<職員評価結果>

前期と後期でそれぞれ1回、3つの重点項目を中心に16の評価項目について4段階で評価しました。当初計画した目標に対しての方策や手立てを講じて教育活動を行ってきましたが、3つの重点項目のいずれも【B】評価となりました。達成できたところの反面、適切な指導に生かせなかったことや取組の課題があがりました。結果や割合は別紙をご覧ください。

<生徒用生活アンケート結果>

生徒用の学校評価について、前期は校内で作成した生活・授業アンケートを、後期は新潟市の生活学習意識調査と関連させて行いました。特に後期は新潟市の平均より高いか低いかでも集計され、小針中学校の傾向がわかる調査でした。生活面では「朝食をバランスよく食べる。」は1年生が市平均より高い結果が目立ちました。逆に本を読まない生徒が全学年とも高く、本に親しむことや読書をするという面で課題がありました。授業では、どの教科でも「授業が分かる。」の割合が高い反面、発表や表現の場が少ないと回答する生徒の割合が高かった結果もありました。発表に関して次年度の授業づくりの課題にしたいと思います。

<後期保護者用学校評価アンケート結果> ※12月に調査

前期の結果と後期の結果を比較して、大きく変化したことはありませんでした。その中で前期と比べて「お子さんは楽しそうに学校へ登校している。」の「あてはまる」の割合が後期で5パーセントほど上がったのは、学校が生徒にとって少しずつ安心できる場になってきていることが推測され、学校としてもよい傾向でした。また、ご家庭でのお子さんの家庭教育の様子についても伺うことができ、今後も学校と家庭が連携してお子さんの成長の支援をしていきます。

上記の結果から次年度について、今年度の課題の解決や教育目標の3つの柱を生徒の目指す姿の「おもしろく」「やさしく」「つよく」の3つに解釈して、各教科の授業や学級活動、生徒会活動等で育成し、集団との協調や学習意欲の向上に注力していきます。

次年度も5月と10月に学年別の授業参観、7月と12月に保護者面談を予定しています。そして主担任を中心として複数の担任が関わって対応するグループ担任制のメリットを生かして、生徒の活躍の姿を丁寧に伝えられるよう努めていきます。最後に、今年度の小針中学校の教育活動にご理解とご協力いただき、大変ありがとうございました。

【学校評価担当】

教務主任 吉野 雅典

☎ 025-267-1851